

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

く社会的環境の変化に伴う大学図書館への期待、情報蓄積のメディアの変革が真近かに迫っている今日、公開についての基本的姿勢を論議しておくことの必要性、公共図書館との情報交換や協力体制、或いは、多くの部局図書室を抱えた大規模大学における問題点等種々意見発表や論議がなされた。

さて、3月にまとめられた中間報告でも、基本的には大学における研究、教育に支障のない範囲内で一般市民に公開するという原則を貫ぬいているが、どの大学でも最低限実施すべきガイドラインを提案している。調査研究班では、この中間報告について各大学の意見を聴取し、その結果を踏まえて去る7月最終報告案をとりまとめた。

昨年の国立大学図書館協議会総会で投げられた

球が、今度は各大学へ投げ返されたわけで、今後はそれぞれの大学が、この最終報告をもとに公開の具体的なあり方を煮詰めていかなければならないわけである。本学でも今後、種々意見を聴取しながら内規や取扱い要領を整備していく予定である。

なお、昨年東京地区の12大学を対象に関東管区行政監察局による「国立大学附属図書館における学外者の利用に関する調査」があり、更にその改善措置について回答を求められたこと、また、文部省学術情報課に対しても、同監察局から一般市民に対する公開の推進方について勧告がなされた旨、今回の総会で紹介があったことを付記し、今後の図書館の対応についてのご理解、ご協力をお願いする次第です。

図書館業務電算化の実施へ向けての体制について

本学における図書館業務電算化計画も「図書館業務電算化推進室（昭和60年6月4日制定）」により導入に至る諸準備へ鋭意検討が進められてきた。電算機借料の予算が昭和61年度（2ヶ月分）として認められたことに伴い、その検討体制をより強化するため「図書館業務電算化推進室要綱」を一部改正し下部組織にシステム開発部会を置いてより具体的なシステム設計並びに稼動に至る運用計画の策定に当ることとなった。

従って従来の推進室等は今後実施へ向けて体制を改めることとし、システム開発部会には全分館職員の中からも委員を委嘱して体制を強化した。これに伴い図書館業務機械化ワーキンググループ

の任務は、発展的に新体制へ引継がれた。

また、業務電算化に係る必要事項を全学に周知徹底させるための説明会並びに連絡・調整を目的として「図書館業務電算化連絡会」を新たに設けることとなり、そのメンバーは

- 1) 全学図書系掛長以上の職にある者
 - 2) 調査研究室研究員（石垣助手）
 - 3) 図書系掛長のいない部局の図書業務担当者
- により構成され、事務部長が随時メンバーを召集して開催されることとなる。

なお、新たに制定された「システム開発部会設置要項」並びにシステム開発部会の委員は次のとおりである。

システム開発部会設置要項

(昭和61年7月16日制定)

(趣旨)

1. 東北大学附属図書館業務電算化推進室要項第6項に基き、システム開発部会の任務等につき必要な事項について定めるものとする。

(組織)

2. システム開発部会は、全学図書系職員の中から附属図書館長が委嘱する者をもって組織する。
3. システム開発部会に総括実行班並びに業務別検討班を置く。

(総括実行班の任務)

4. 総括実行班の任務は、以下のとおりとする。
 - 1) メーカ側の開発グループ(S E)と協力し、全学の業務処理に最適なシステムの開発・設計。
 - 2) 業務別検討各班の作業についての連絡・調整及びシステム全体の運営に係る必要事項について、検討を行う。

(業務別検討班)

5. 業務別検討班は、次に掲げる4班とする。

- 1) 雑誌業務担当
- 2) 閲覧・I L L業務担当
- 3) 目録・検索業務担当
- 4) 受入業務担当

(業務別検討班の任務)

6. 業務別検討班の任務は、以下のとおりとする。

総括実行班と連絡調整を行いつつ、当該業務の開発及び稼動に至る必要事項の検討を行う。

(責任者及び助言者)

7. システム開発部会は整理課長が掌理し、閲覧課長、図書館専門員がこれを補佐する。調査研究室研究員(石垣助手)は、専門的事項について助言を与える。

(幹事)

8. 総括実行班並びに業務別検討班の各班に幹事を置き、幹事は各班の庶務を扱う。

システム開発部会名簿

1. 総括実行班

湯本一義, 菊地房雄(医学分館), 阿部佳市, 松井好次, 佐藤義則, 米沢誠

2. 業務別検討班

(1) 雑誌業務担当

佐藤正弘, 佐藤義則, 菊地房雄(医学分館), 武田光佳(農学分館), 栃原孝夫(工学分館)

(2) 閲覧・I L L業務担当

菅野博之, 米沢誠, 吉川和幸, 川村隆男(工学分館), 湯目昌史(医学分館)

(3) 目録・検索業務担当

小野和夫, 村岡徹, 阿部佳市, 松井好次, 佐々木勝義(北青葉山分館)

(4) 受入業務担当

湯本一義, 松元義正, 米沢 彰(医学分館), 男沢耕司

石彫「古代からのメッセージ」紹介

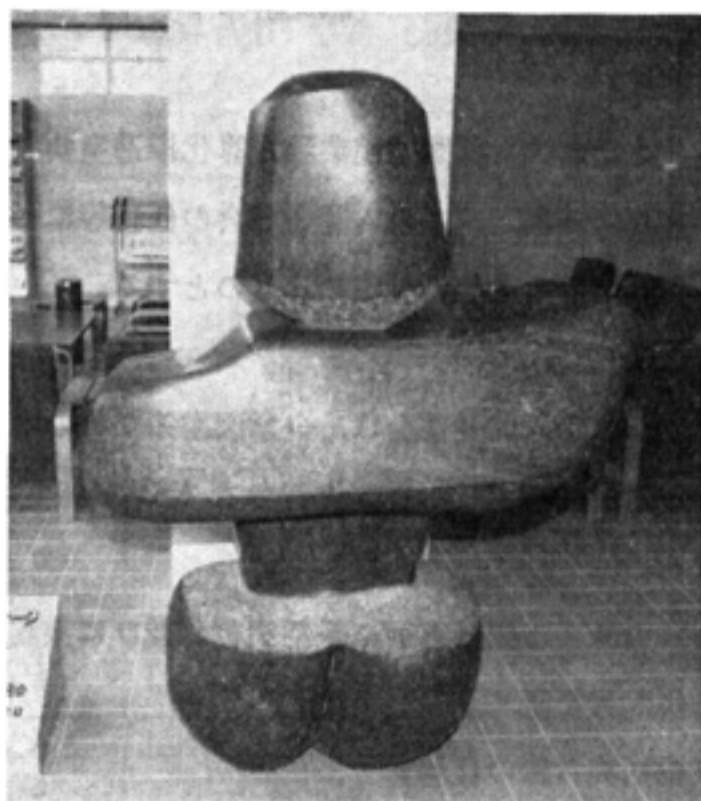
写真は標記題名の作品である。作者は本県（宮城県）出身の新進彫刻家星真子氏で、昨60年秋の北青葉山分館新営を記念して、本学薬学部同窓会から寄贈されたものである。

埴輪の形から作品のモチーフを感じとる人も多いことと思われるが、作者のテーマは“人間の心の表現”であるという。この作品も、自然の中にある人間を追求し、石の存在感に仮りて、古代の夢のごときを現代に托してみたものと説明されている。

作品の素材は福島県産の黒御影（浮亀石）で、高さ約175cm、重さ約1.2トン。

明るく閑静な分館のエントランス・ホールに、黒く佇むこの立像に面すると、一瞬気圧されるが、更に対面し続けると、石の内からの語りかけを感じるとような心を覚える筈である。

傍の床面にある、理学部地学科地学第一古生物



学講座所蔵のアンモナイト（Pachyadiscus 類・南サハリン上部白亜系産・長径約50cm）とあいまって、暫し無限の時間を感じずる空間を形成するコーナーとして入館の足をとめさせている。

～研修会・セミナー等参加者一覧～

○昭和61年度学術情報センター・セミナー

5月19日～7月19日、9月2日～10月13日
（学術情報センター）

松井好次（和漢書目録掛）

○昭和61年度総合目録データベース実務者研修

第1回

5月27日～7月21日（学術情報センター）
阿部佳市（洋書目録掛）

第2回

9月2日～10月27日（学術情報センター）

菊池房雄（医学分館運用掛）

○第7回EDCセミナー

6月26日～27日（東京大学附属図書館ほか）

佐藤義則（逐次刊行物掛）

○昭和61年度大学図書館職員長期研修

7月28日～8月16日（図書館情報大学附属図書館）

前田裕子（農学分館図書掛）

～ 会議予告 ～

○昭和61年度国立大学図書館協議会常務理事会・理事会・協議会賞受賞者選考委員会

日時：昭和61年11月12日（水）14：00～17：00
常務理事会，協議会賞受賞者選考委員会

昭和61年11月13日（木）10：30～12：30
理事会

場所：東北大学記念講堂松下会館

昭和60年度特別図書購入報告

特別図書購入費(文部省配分)によって、下記資料を購入し、本館に備付けましたので御利用下さい。

番号	資 料 名	出版形態	内 容	備 考
1	American Journal of Economics and Sociology. Vol. 1-19. (経済学と社会学)	original	経済制度の社会学的側面、社会・政治制度の経済的側面等に関する研究論文を収録している。	
2	Cost and Management. Vol. 23-44. (1949-1970) (カナダ管理会計士協会雑誌)	reprint	原価計算、管理会計、経営管理に関する論文を掲載しているこの分野の基本的文献である。	既蔵 Vol. 1-22.
3	Early English Books. STC 1 Unit 56, STC 2 Unit 55-56. (英国古書集成)	micro-film (35mm)	15~17世紀に英語で書かれたあらゆる分野の図書を収録している。	既蔵 STC I. Unit1-55 STC II. Unit1-54
4	The Monist. Vol. 50-65. (1966-1982) (一元論者)	original	1888年に創刊された哲学専門誌である。	既蔵 Vol. 28-46
5	Monographs of the Society for Research in Child Development. Vol. 9-41. (1944-1976) (児童発達研究会論文集)	original	児童の精神発達に関する詳細かつ優れた論文が、多数掲載されている。	既蔵 Vol. 1-8.
6	Protocolle der Commission zur Beratung einer allgemeinen Civilprozessordnung fuer die deutschen Bundesstaaten. 18Bde. (1862-1866) (ドイツ連邦一般民事訴訟法草案審議委員会議事録)	reprint	ドイツ連邦一般民事訴訟法草案審議委員会の議事録である。	
7	Protokolle der Kommission zur Ausarbeitung des Entwurfs einer Civilprozessordnung fuer die Staaten des Nord-deutschen Bundes (1868-1870) (北ドイツ連邦民事訴訟法大系草案審議委員会議事録)	reprint	北ドイツ連邦民事訴訟法大系草案審議委員会の議事録である。	
8	The Works of Thomas Love Peacock. 10 Vols. (トーマス・ラブ・ピーコック全集)	original	英国のロマンス作家ピーコックの長い間絶版になっていたHalliford版の再刊全集である。	
9	復刊「人道」 Vol. 1-16. 全19冊	復刻版	キリスト教社会福祉事業に関する雑誌である。	
10	静嘉堂文庫所蔵 国語学資料集成 54 reels.	micro-film (35mm)	静嘉堂文庫所蔵資料から国語学に関する資料を集めており、国語学史の基本資料である。	

昭和60年度下半期文献複写実績

国立大学等図書館間で取扱われた文献複写の本学に於ける昭和60年度下半期（10月～3月）分実績は下記のとおりです。

区 分 図書館名	受 付		依 頼	
	件 数	金 額	件 数	金 額
中 央 図 書 館	270 件 (158)	251,235 円 (265,285)	123 件 (199)	249,965 円 (232,685)
医 学 分 館	1,034 (708)	480,965 (317,240)	66 (150)	34,360 (65,620)
工 学 分 館	442 (34)	220,370 (12,230)	143 (8)	110,710 (4,555)
農 学 分 館	196 (42)	75,020 (19,125)	16 (98)	11,190 (34,185)
北 青 葉 山 分 館	490 (123)	407,105 (108,410)	50 (107)	39,939 (48,385)
理 学 部 附 属 所 臨 海 実 験 所	12	6,815	0	0
合 計	2,444 (1,065)	1,441,510 (722,290)	398 (562)	446,164 (385,430)

（ ）内は私費で外数を示す。

昭和60年度下半期（10月～3月）分文献複写受付および依頼国立大学図書館別実績は下記のとおりです。

区 分 図書館名	受 付		区 分 図書館名	依 頼	
	件 数	金 額		件 数	金 額
岩 大 図	32 件 (16)	26,565 円 (3,995)	東 大 図	6 件 (49)	12,920 円 (72,605)
九 大 図	3 (13)	1,220 (32,335)	京 大 図	11 (17)	54,445 (33,300)
福 島 大 図	10 (4)	8,565 (1,495)	北 大 図	21 (7)	26,805 (4,040)
京 大 図	(13)	(2,0350)	一 橋 大 図	7 (20)	21,220 (26,330)
新 大 図	11 (2)	7,885 (575)	名 大 図	9 (11)	21,135 (8,745)
金 大 図	10 (2)	28,100 (555)	阪 大 図	2 (10)	13,085 (26,815)
北 大 図	7 (5)	16,250 (2,460)	岩 大 図	7 (5)	1,850 (1,750)
徳 大 図	8 (3)	6,855 (2,325)	京大東文セ	9	10,135
北 大 文 図	9 (2)	6,920 (645)	広 大 図	1 (7)	575 (10,865)
東 工 大 図	10	9,885	北 大 教 図	2 (5)	14,195 (1,490)
そ の 他	170 (98)	138,990 (200,550)	そ の 他	48 (68)	73,600 (46,745)

（ ）内は私費で外数を示す。

中央図書館受付および依頼件数の多い上位10の国立大学図書館を掲げた。

昭和60年度図書受入冊数調

種 別 部 局	購 入			受 贈 ・ そ の 他*			計		合 計
	和漢書	洋 書	計	和漢書	洋 書	計	和漢書	洋 書	
図 書 館	3,060	1,728	4,788	7,142	1,331	8,473	10,202	3,059	13,261
文 学 部	4,284	2,820	7,104	625	638	1,290	4,936	3,458	8,394
教 育 学 部	649	535	1,184	251	188	439	900	723	1,623
法 学 部	1,437	1,973	3,410	3,270	217	3,487	4,707	2,190	6,897
経 済 学 部	1,846	1,670	3,516	1,273	1,067	2,340	3,119	2,737	5,856
教 養 部	3,919	4,139	8,058	190	1,400	1,590	4,109	5,539	9,648
情 教 セ	6	4	10	-	-	-	6	4	10
川 渡 農 場	43	6	49	-	-	-	43	6	49
学 生 部	36	17	53	-	-	-	36	17	53
大 計 セ	61	33	94	8	36	44	69	69	138
応 情 研	29	40	69	-	-	-	29	40	69
サ イ ク ロ	11	25	36	5	170	175	16	195	211
農 研	293	60	353	128	180	308	421	240	661
選 研	50	122	172	163	282	445	213	404	617
科 研	23	56	79	21	265	286	44	321	365
速 研	237	179	416	39	204	243	276	383	659
通 研	49	122	171	153	468	621	202	590	792
非 水 研	63	157	220	110	496	606	173	653	826
金 研	127	291	418	320	884	1,204	447	1,175	1,622
医 学 分 館	2,839	4,473	7,312	493	375	868	3,332	4,848	8,180
北 青 葉 山 分 館	818	1,150	1,968	1,034	4,359	5,393	1,852	5,509	7,361
工 学 分 館	3,008	2,490	5,498	572	1,181	1,753	3,580	3,671	7,251
農 学 分 館	1,073	968	2,041	180	160	340	1,253	1,128	2,381
合 計	23,961	23,058	47,019	16,004	13,901	29,905	39,965	36,959	76,924

* その他：雑件受入、管理換等

記念資料室だより

6月22日の本学第79周年開学記念日をめぐって、本室では1週間〔6月23日（月）～28日（土）〕、例年のごとく「東北大学の歴史に関する資料展」を、川内の附属図書館本館エントランス・ホールで開催しました。各報道機関に連絡して、河北・朝日の両紙のように詳細な紹介を得た場合もありました。来訪者はかなり多く、何百冊かの展示目録が次々になくなりました。川内開催最後の年例展示会はこうして盛会裡におわりました。

7月2日、石田名香雄学長から本室へ、3冊の著書と、1個の唐三彩の置物とが、寄贈されました。著書は専門研究の業余にものされた随想集「医学身辺雑記」と副題をつけた『妙香』、『戸隠』と細菌学教室同窓会の「石田名香雄教授開講20周年記念文集」『鈴懸の径』であります。唐三彩はさきほど登頂帰国した東北大学山岳部の中国のニンチェンタングラ峯登山隊が、記念のみやげに中国政府当局からもらって帰ったものです。白地の陶土に緑・褐・黄の色を塗って軟かく焼き上げた唐以来の伝統をもつ陶芸品で、馬の生き生きとした身振りがあざやかに描写された貴重品です。本室では学長の御希望に従って、エントランスホールの展示ケースにこれを公開し、学生諸君の鑑賞に供しています。

7月下旬、片平キャンパスの記念資料室新館の修復工事は順調に進行し、地上18mの斜屋根にあいた穴をふさいだり、樋をつけ直したりする、作業がおこなわれています。一方では内部の各処の手直し、窓のつけ直し、外部の壁石のとりつけ直しなど、いまや最盛期のように見えます。2階の大展示室（もとの大閲覧室）の高さ9mの天井の塗かえなどはまだであります。

一昨年逝去された本学法文学部元教授河野與一先生の遺稿集『続学問の曲り角』が岩波書店から刊行され、編集に当たった本学での門下の方々を介して、その1部が本室に寄贈されました。その学問の深遠博大なこと、その交友の広範至醇なこと、ありし日が偲ばれてなりません。御逝去の半年位前、記念資料室としての要務でお目にかかる予定を組んでいたのに、御風邪で延期してそのままで終ったのは残念なことでした。なおこの書には小宮豊隆、高橋里美、武内義雄等の方々のことをのべた章、また太田正雄、児島喜久雄、高橋稔、石原謙、杉捷夫、山田竜城、カールレヴィット等々の方々との親しい交友にふれた節があって、東北大学の歴史にとっても貴重な記録となっています。なお近く岩波から出る『回想河野與一・多麻』はほとんど100名に近い知人や門下の思い出の記でここにも中村吉治・桑原武夫・柴田治三郎等々の多くの本学の諸先生の教愛の念をこめた文章がみられることでしょう。河野先生の御蔵書は多麻夫人（東北大学出身 文学博士）の御意向で、その一部が本学図書館へ寄贈され、西洋古典学に関する貴重な資料として、永く架蔵されることとなりました。

図書館業務機械化検討の状況 (12)

昭和61年5月～7月

○図書館業務電算化についての説明会 (5/23)

分館を除く端末設置部局図書担当職員、参加者28名、図書館業務電算化の検討経過について、図書館情報処理システム計画について、電算機導入に伴う諸経費について、雑誌・受入・目録・閲覧の各サブシステムについて。

○図書館業務機械化掛長懇談会：第23回 (7/25)

今回は全学図書系掛長以上の職にある者及び図書系掛長のいない部局の図書業務担当職員を集めて開催された。参加者36名。機種選定委員会について、電算化システム開発体制について、図書館情報処理システム構成について、端末の設置台数について、電算化に伴う業務改善について（受入業務、目録業務）。

なお、この懇談会は昭和58年9月から開催され種々検討・報告等がされて来ているが、今回を以って発展的解消し、次回からは「図書館業務電算化連絡会」として業務電算化に係る必要事項の説明及び連絡・調整を計るものとして発足することになった。責任者：事務部長、各課長がこれを補佐する。構成員：①全学図書系掛長以上の職にある者、②調査研究室研究員（石垣）③図書系掛長のいない部局の図書業務担当者である。

○日本電気との打ち合せ：第1回 (7/14)

システム開発の今後の進め方について（機能面・スケジュール・開発体制）、第2回 (7/29) システム仕様書についての説明。

図書館業務機械化検討の状況報告は今回で終了し、今後の図書館業務電算化システム開発状況等については開発広報等として周知を計る予

定である。

○業務電算化のための前処理（初期データ作成等）業務の実施状況（61年度）

本学の図書館情報処理システム計画も機種の選定を終え、明年2月の稼動に向けてシステム開発の具体的作業へと進んでいる。

また、これと平行して昨年度から実施している前処理業務（初期データ作成等）も、全学のご理解とご協力により必要経費が認められ今年度は下記の業務について計画実施中である。

1. 受入業務関係

新規受入図書（全学）約8万冊への図書IDラベルの貼付。

2. 雑誌業務関係

雑誌・所蔵・契約データ（全学）の作成。

3. 閲覧業務関係

① 本館

(ア) 書庫内新分類図書（昭和48年度以降受入）約13万冊への図書IDラベルの貼付。（61/7-8）

(イ) 学閲図書約8万冊のデータ作成。

② 分館関係開架図書への図書IDラベルの貼付。

(ア) 医学分館、約5万1千冊。（計画中）

(イ) 北青葉山分館、約2万3千冊。（61/8）

(ウ) 工学分館、約3万冊。（61/7）

(エ) 農学分館、約1万2千冊。（61/7-8）

③ 利用者登録及び利用者マスター作成（全学）約1万7千名。

本学図書館情報処理システム機種選定結果について

本年4月18日に設置された図書館情報処理システム機種選定委員会は、6月26日までに6回にわたって慎重な審議を重ねるとともに、同委員会内に設けられた検討専門委員会で図書館システム提案依頼書の作成及びこれに対する各社からの提案書の内容について技術的、専門的サイドより検討しかつ各業務システムの細部にわたる吟味を十分行った。その結果をもとに6月26日、野口正一委員長は附属図書館長に「機種選定結果報告書」を提出した。

「同報告書」において、本学附属図書館情報処

理システム実現のためには、機能性の高いハードウェアと拡張性に富むソフトウェアが必要でありこれに対応できるシステムとして日本電気提案のACOS 610/10のシステムが適切であるとしている。

この後、7月4日開催された61年度第2回附属図書館商議会においてこれまでの経過報告をふまえた「図書館情報処理システム機種選定について」として審議され、日本電気提案のシステムを採用することが承認された。

☆ 永年勤務者の表彰 ☆

本学創立記念日（6月22日）を前にした20日（金）、記念講堂附設松下会館において、昭和61年度東北大学永年勤務者の表彰式が挙行されました。

本学に通算20年勤務し職務に精励されたことにより、学長から受彰者1人ひとりに表彰状と記念品が授与されました。

今回表彰された図書館（室）の方々は、次のとおりです。

総務課	事務官	熊沢 宏二
整理課	〃	相川 晶子
〃	洋書目録掛長	村岡 徹
〃	事務官	阿部 佳市
〃	逐次刊行物掛長	佐藤 正弘
閲覧課	事務官	千葉 龍郎
北青葉山分館	整理・運用掛長	佐々木勝義
理学部	数学科図書室	横山 悦子
農学研究所	図書室	菅原 育子

人 事 異 動

発令年月日	前 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
61. 5. 1	北青葉山分館 事務補佐員	柴 田 いくよ		辞 職
61. 6. 1		遠 藤 悦 子	総務課 事務補佐員	採 用
〃		星 直 美	〃 〃	〃

東北大学附属図書館報「木遣子」 第11巻 第2号（通巻第42号）発行日 昭和61年8月31日
編集委員長 及川恵美子 編集委員 小野和夫、湯本一義、芳賀博、佐藤京
発行人 松川 衛 発行所 東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 222-1800 (2408)